



# 市議会だより

平成26年  
第2回定例会  
第38号

発行：青森市議会（中央一丁目22-5 TEL：017-734-5743 FAX：017-734-5824） 編集：議会広報広聴委員会



〈経営再生への取り組みが求められている青森駅前再開発ビル（通称「アウガ」(AUGA)〉

本定例会で市長から提案され、可決された主な議案をお知らせします。

○青森市及び南津軽郡浪岡町の廃置分合に伴う地域自治区の設置等に関する協議により定めた事項を変更する条例の制定について

浪岡地域自治区の設置期間を6年間延長し、平成33年3月31日までとするため制定するもの。

## 可決された主な議案

地域漁業再生支援事業（7千230万6千円）

※ホタテガイ養殖業の経営悪化及びホタテガイ養殖残渣の適正処理・減量化の観点から包括的に支援するもの。

（1億9千541万8千円）  
（次ページに続く）

平成26年第2回定例会は5月27日から6月24日までの29日間の会期で開かれ、青森駅前再開発ビル株式会社への貸付金に係る第2次再生計画期間中の元金償還の繰り延べ及び貸付利息の低減などを盛り込んだ平成26年度一般会計補正予算など32件が可決・同意・採択されました。（審議結果は11ページに掲載。）なお、青森駅前再開発ビル株式会社への貸付金等に係る補正予算については、附帯決議を付しました。また、市政全般に関する一般質問は5日間にわたり27人の議員が行いました。以下、可決された主な議案、総括質疑、一般質問、予算特別委員会の質疑、可決された議員提出議案、各常任・特別委員会の開催状況等をお知らせします。

## 第2回定例会の概要

### 青森駅前再開発ビル株式会社（アウガ運営）の貸付金の返済を猶予する一般会計補正予算など32件を可決

返済猶予予算には附帯決議を付す

○青森市市税条例等の一部を改正する条例の制定について

地方税法等の一部改正に伴い、法人税割及び軽自動車税の税率を改正し、並びに国民健康保険税の軽減対象世帯を拡大する等のため改正するもの。

○平成26年度青森市一般会計補正予算（第1号）

補正額 4億499万9千円

主な予算として  
ごみ問題対策・市民啓発事業（1千360万1千円）

※ごみの適正分別及び減量意識の醸成を図ること及び青森市ごみ問題対策市民会議を活動母体として、ごみ減量化運動を強化するもの。

## 主な内容

第2回定例会の概要	P1	可決された主な議案	P1~P2	総括質疑一般質問	P2~P6	予算特別委員会	P6~P9
議員提出議案	P9~P10	表彰トピックスなど	P10	議案・請願・陳情審議結果	P11	委員会の活動	P12

※国の平成25年度第1次補正予算において、経済対策による景気回復の効果を全国に波及させるため、地域の財政力等にに応じて交付されるもので、小・中学校のプール解体工事等を実施するもの。

○平成26年度青森市一般会計補正予算(第2号)

補正額 0円

主な予算として

中心市街地再生支援短期貸付金などの合計

(△2億7千644万6千円)

財政調整積立金繰入金

(2億7千644万6千円)

※青森駅前再開発ビル株式会社への貸付金に係る計画期間中の元金償還の繰り延べ及び貸付利息の低減について、一般会計内で財源調整をするもの。なお、本案については、附帯決議を付しました。(附帯決議の内容は9ページに掲載しています。)



〈ごみの減量・分別方法などをわかりやすく説明する出前講座の様子〉

総括質疑

総括質疑は、赤木長義議員が青森市消防団員退職報償金条例の一部を改正する条例制定の議案のほか3議案に対し行いました。その中から、一項目を取り上げ質疑及び答弁の要旨を掲載します。

公明党 赤木長義

問 青森市消防団員の退職報償金を一律5万円引き上げるとのことだが、その内容を示せ。

答 消防団員退職報償金は、条例で支給額が定められているが、消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律において、「国及び地方公共団体は、消防団員の処遇の改善を図るため、適切な報酬の支給がなされるよう必要な措置を講ずるもの」との規定が設けられたことを踏まえた条例改正である。その内容は、退職時の階級が団員で勤務年数が5年以上10年未満は5万6千円、そのほかは一律5万円引き上げるものである。



一般質問

青森駅周辺整備推進事業について

自民党新青会 中田靖人

問 青森駅周辺整備推進事業は、平成24年度から平成28年度までの期限で整備する計画であるが、立ちおけているように感じる。平成26年度中に取り進むのか。

答 平成24年2月に策定した青森駅を中心としたまちづくり基本計画に基づき、同事業に取り組みすることとしているが、現在は、JR東日本及び国・県と協議・検討を続けている状況である。事業を進めるに当たっての費用負担等の合意形成、協定の締結等、平成28年度の期限までに間に合うよう最大限の努力をしていく。

青森港新中央埠頭の整備要望について

問 大型客船ダイヤモンド・プリ

数多くの質問項目の中から一議員につき一項目を取り上げ、質問及び答弁の要旨を掲載しています。

除排雪事業に伴う事前調査について

日本共産党 葛西育弘

問 平成26年度除排雪事業に伴う除排雪業務を行った業者を対象とした事前調査におけるGPS導入の調査目的と内容を示せ。

答 調査目的は、GPSを利用した道路除雪管理システム導入の可能性を検証するためであり、調査内容は、GPS端末の操作における除雪作業への影響や問題点、システム導入に必要なパソコンやインターネット環境の整備状況、期待される効果や導入に対する意見等である。今後は、調査結果等を総合的に勘案し、導入の可否を判断していく。

再生可能エネルギーの導入目標設定について

公明党 渡部伸広

問 2030年の発電電力量のうち、再生可能エネルギーの利用比率を約2割以上にするという国の普及目標を踏まえ、本市でもエネルギーに関する目標を設定し、取り組むべきと思うがどうか。

答 市では、太陽光発電やバイオ



〈青森港新中央埠頭への入港が望まれる大型客船ダイヤモンド・プリンセス(写真は沖館埠頭へ着岸したときの様子)〉

マス、地熱など再生可能エネルギーの導入促進をこれまで以上に図ることとしており、現在策定中の「脱・原発依存社会の実現を目指す方針」青森市再生可能エネルギー戦略」の中で、再生可能エネルギーの導入量に関する目標を掲げることも検討している。

### 滝沢地区への産業廃棄物 投棄事案について

市民クラブ 木下 靖きのした やすし

**問**平成22年、港町旧青森ゴルフセンター跡地から出た産業廃棄物約550トンが滝沢地区に投棄されたが、市は、これを廃棄物の処理及び清掃に関する法律第16条の違反行為に当たらないと判断した理由は何か。

**答**この事案では、環境保全上支障がなく、投棄現場は公共性や密集性の高い地域にも当たらず、隠蔽目的もないことから、社会通念上許容されない処分行為をしたと判断できず、同法の「みだりに廃棄物を捨て」たとまでは認められないため、違反行為に当たらないと判断したものである。

### ごみ減量化に向けた 市民啓発について

新政会 嶋田 肇しまた せいはる

**問**平成27年度以降、新ごみ処理施設の処理能力を上回るごみの発生が見込まれるため、ごみの減量化に取り組みなければならぬが、今後、市民にどのように啓発するのか。

**答**ごみのさらなる減量化・資源化、分別ルールとマナーの再認識を目的とした「ごみの減量化ハンドブック」を全世帯に配布するとともに、全町会と各種団体等で構成する青森市ごみ問題対策市民会議との連携などで、市民一人一人がごみ問題に関心を持ち、ごみの減量化・資源化がより一層促進されるように取り組んでいく。

### ごみの減量化策について

公明党 赤木 長義あかき ながよし

**問**ごみの減量化は待ったなしの状況であり、減量化を進めるためには全庁的なごみ減量化対策本部を立ち上げるべきだと思いが、市

の考えを示せ。

**答**本市におけるごみの減量化は喫緊の課題であり、ごみを担当している環境部のみならず、広報を担当している市民政策部や町会等を担当している市民生活部等、全庁を挙げて取り組まなければならないものと認識している。提案のごみ減量化対策本部を早急に立ち上げ、実効性のあるごみの減量化策を進めていく。

### 青森市浪岡不燃物 埋め立て処分場について

市民クラブ 竹山 美虎たけやま みとら

**問**青森市浪岡不燃物埋め立て処分場廃止基本計画に基づき、平成26年度は何を実施するのか。

**答**同処分場の一部埋立箇所廃棄物が環境省の定めた埋立基準を超過していることから、同基準を超過する鉛及びダイオキシン類を含む廃棄物並びに土壌の除去量を把握するための詳細調査や、その除去対象物を安全に除去する工法の検討、廃止基準を満足するような覆土や通気装置設置の設計など、平成27年度以降に予定している適正化対策工事に必要な実施詳細設計などを行う。

### 医療と福祉の連携 について

社民党・市民の会 橋本 尚美はしもと なおみ

**問**市民病院では、患者に対して福祉サービスなどの情報提供をどのように行っているのか。

**答**患者の疾病及び病状を踏まえ、個々に必要な福祉制度の内容や手続について事務局職員や病棟看護師がお知らせしている。具体的には、自立支援医療対象患者及び血友病患者等に係る受給者証交付申請手続、高額療養費制度、未熟児養育医療給付申請手続、自立支援医療費支給申請手続などである。地域連携室においても、要介護認定の申請など、医療相談員がさまざまな相談に対応している。

### 高齢者の見守り 対策について

日本共産党 天内 慎也あまのい けんや

**問**行方不明や安否確認がとれない高齢者をできるだけ減らすためには見守り体制だけではなく、行方不明者を捜す仕組みもつくるべきと思うが、市の考えを示せ。

**答**市としては、見守る体制と見つける体制の2つが必要と考えており、見守る体制の強化とともに、見つける体制については、現在、青森警察署と協議を始めたところである。今後、町会等の活用も踏まえ、どのように見つける体制を整備していくか検討していきたい。

### 屋根の雪おろし費用の 一部助成について

自民党新青会 木戸 喜美男きど きみお

**問**屋根雪の処理に要した費用の一部を助成する福祉の雪処理支援事業の概要を示せ。

**答**当該事業は、65歳以上の高齢者のみの世帯、身体障害者1級、2級、視覚・内部障害3級の手帳、愛護手帳Aの交付を受け



〈医療や福祉などのさまざまな相談に対応している市民病院の地域連携室〉

ている方のみの世帯、子どもが18歳未満の母子家庭などが対象で、2万5千円を上限に費用の半額を助成するものであり、助成に当たっては、制度の対象者であることを確認するため、事前登録申請をお願いしている。

### 障害者就労施設等からの物品等の調達について

**問** 本市の障害者就労施設等からの物品等の調達実績を示せ。

**答** 市では、障害者就労施設等から物品等を優先的に発注できないか検討し、随意契約による発注等に積極的に努めている。平成25年度の調達実績は、印刷等の実績が就労継続支援事業所から93万8千985円、重度障害者多数雇用事業所から2千475万3千735円、合わせて2千569万2千720円となっており、平成24年度の調達実績は816万9千888円を大きく上回っている。



### 子どもの権利相談センターのPRについて

自民党新青会 館山 善也

**問** 子どもの権利相談センターのPRポスターにQRコードを用いて、携帯電話機に連絡先等の情報を取り込ませてはどうか。

**答** 現在、同センターの場所や相談方法等が記載されたリーフレットや常時持ち歩ける携帯用カードを小・中学校、高校の全児童・生徒に配付している。QRコードを用いて、携帯電話機に同センターの連絡先等の情報を取り込むことができるようにすることは、いつでもどこでも気軽に相談できる機会をふやすことにつながるものであり、平成26年度中に実施したい。

### 子ども施策について

社民党・市民の会 仲谷 良子

**問** 本市で10月に開催予定の「地方自治と子ども施策」全国自治体シンポジウムの内容等を示せ。

**答** 同シンポジウムは、10月11日・12日に、青森県総合社会教育センター及び青森県立図書館において開催され、11日は、子どもにやさしいまちづくりをテーマに講演とシンポジウムを行い、12日は、子どもの相談・救済、子どもの虐待防止、子どもの居場所など、7つのテーマを掲げ、先進地の施策紹介や実施に伴う喫緊の課題、その解決事例等の報告及び意見交換等を行うこととしている。

### 浪岡自治区の延長について

公明党 山本 武朝

**問** 浪岡自治区を6年間延長してまちづくりに取り組むとのことだが、同地区の諸課題を早期に解消するため、行政改革の観点から前倒しできる事業は速やかに取り組むべきではないか。

**答** 雪対策の推進、健康づくり、地域医療の充実、雇用の確保など、自治区住民が、今後より積極的な取り組みを要望した各分野の施策、事業については、重点的に取り組む必要があると考えており、引き続き、浪岡自治区地域協議会などからの意見聴取を適切に行い、緊急度と優先度を見きわめながらスピード感を持って対応していきたい。

### 旧中央部学校給食共同調理場跡地利用について

市民クラブ 上林 英一

**問** 旧中央部学校給食共同調理場への放課後児童会の設置に係る検討状況を示せ。

**答** 中央部及び西部の旧共同調理場の利活用に係る意向確認を各部署に対し実施した結果、健康福祉部から、設備及び運営に関する関係基準や安全確保等のための整備、近隣の町会長等地元関係者との協議など諸課題をクリアした上で、放課後児童会や児童館的機能を有する施設等として、両施設の一部利用について検討できるとの意向が示された。引き続き、両施設の放課後児童会等としての利用について、同部からの意向も踏まえながら鋭意検討していく。

### 集团的自衛権の容認について

日本共産党 藤原 浩平

**問** 安倍首相が進める憲法解釈を変えて的集团的自衛権容認に対する市長の見解を示せ。

**答** 政府は、集团的自衛権について、権利は有するが、その行使は憲法上許されないとの立場をとってきており、その立場を覆し、限定的であろうと集团的自衛権の行使を容認しようとする動きは許されないものである。政権が変わるたびに憲法解釈が変われば、法的安定性も保たれないことから、憲法の解釈変更により集团的自衛権の行使を容認しようとする動きは、到底認められないと考える。

### 原子力発電所の再稼働について

日本共産党 山脇 智

**問** 原子力災害における避難者の受け入れ計画等について具体的なものができていない状況で、国などが原子力発電所の再稼働に前向きな姿勢を見せている。市長は意



〈放課後児童会の開設場所としての利用も検討されている旧中央部学校給食共同調理場〉

見を述べるべきではないか。

**答** 原子力災害における避難の問題は全く進んでおらず、安全対策及び再発防止策も確立されていない状況のため、現時点で原子力発電所の再稼働はあり得ないと考える。市民の安全・安心を将来にわたって確保することが、市長としての責任と考えている。

### 津波対策について

新国会 奥谷進

**問** 津波対策について、今後どのように進めていくのか示せ。

**答** 平成26年度は、主な公共施設に対する海拔表示板の設置及び収容避難所標識への海拔表示、加えて、民間事業者の御協力をいただきながら津波避難ビルの指定に取り組むほか、沿岸部における同報系防災行政無線の検討に取り組むこととしている。また、全市域を対象とした災害被害想定調査を実施し、この調査結果を反映させた地域防災計画の修正を平成27年度に予定している。



### AEDマップについて

自民党新国会 里村誠悦

**問** AEDマップについて、屋外においても確認できる取り組みを行うべきと思うがどうか。

**答** AEDマップについては、市ホームページにおいて、AED設置の市有施設一覧が閲覧でき、地図上でも確認できる。消防事務組合ホームページでも、まちかどハートステーション認定施設一覧及びマップが閲覧できる状況である。屋外でもすぐに確認できるような取り組みについては、まずは関係部署と協議し、他都市の先行事例を調査したいと考えている。



〈屋外でも設置場所が確認できるような取り組みが求められているAED（写真は市役所1階総合案内（守衛室）に設置されているAED）〉

### 合葬墓について

日本共産党 館田瑠美子

**問** 市民要望もあり、検討課題となっていた合葬墓の計画を示せ。

**答** 市民意識調査の結果、本市においても従来との墓とは異なり、生前に申し込みが可能であり、承継者が不要で共同の納骨堂を持つ合葬墓に対して、一定の需要がある。市では、今後の市営霊園のあり方について検討しているところであり、市民の墓に対する考え方が多様化していることも踏まえ、現在、合葬墓に関する先進自治体の調査を実施するなど、事業化の課題整理を行っている。

### アウガ内の公共施設について

新国会 中村節雄

**問** 仮に青森駅前再開発ビル株式会社による第2次再生計画案が実現できなかった場合、アウガ内の公共施設等は運営できるのか。

**答** 市としては、再生計画案は実現可能と判断している。仮に実

### 国際会議観光都市の認定について

社民党・市民の会 斎藤憲雄

現できない場合には、エレベーター等の共用部分は、地権者と協議の上、別会社に委託して運営することは可能である。駐車場は、管理運営が可能な別の会社に委託することで運営可能であり、市民図書館等の公的施設は、市専有部分であるため、これまでどおり管理運営が可能である。

**問** 海外観光客誘致のため、まずは国際観光都市を目指し、国際会議観光都市の認定の取得に取り組むべきと思うがどうか。

**答** 市ではこれまで、訪日外国人受け入れのため、無線インターネット環境の整備、外国語によるパンフレットや観光施設等での案内表示整備、市民ボランティアの研修など、青森観光コンベンション協会、青森商工会議所、民間事業者、市民との連携により、環境整備に積極的に取り組んできた。現在、この取り組みの延長線上として、国際会議観光都市の認定の取得に向けて協議している。

### 実践型地域雇用創造事業について

市民クラブ 工藤健

**問** 平成26年度実施予定の実践型地域雇用創造事業の内容を示せ。

**答** 当該事業では、平成27年度末に予定されている北海道新幹線開業などを見据え、今後、さらなる雇用機会の創出が期待できる食と観光を重点分野として設定し、販路拡大やおもてなし力向上のためのセミナーを実施するほか、新たな土産品や旅行プランなど新商品の開発を行うこととしており、平成26年度から平成28年度までの3カ年で、事業費約1億4千万円、143人の雇用創出を目指している。

### 八甲田牛について

社民党・市民の会 海老名鉄芳

**問** 八甲田牛の生産の現状と今後の取り組みを示せ。

**答** 近年、八甲田牛は、赤肉の持つ牛肉本来のうまみや低カロリーな肉質が再評価されており、食の

安全・安心と健康志向を背景に販売が堅調で、生産の拡大が求められており、平成27年度からは出荷頭数を月2頭から3頭へ拡大するなど、消費、流通に広がりが見られる。市では、引き続きイベントでのPRや、餌米などを活用した肥育試験などにより、販路拡大や生産技術の向上を図り、八甲田牛のブランド力を高めていく。

### 地域漁業再生支援事業について

公明党 柴田 久子

**問** 本定例会に提案している地域漁業再生支援事業の具体的な概要を示せ。

**答** 市では、ホタテガイ養殖業者の経営の安定化及びホタテガイ養殖残渣の適正処理、減量化の観点から、ホタテガイ養殖残渣の処分に係る手数料の補助、漁業協同組合が漁場の保全や資源管理等の漁業権管理のため漁業者から徴収する漁業行使料の補助、残渣発生量を削減するための洋上ホタテかご洗浄機購入費の補助など、包括的支援により、本市の主要な基幹産業であるホタテガイ養殖業を支え、ホタテガイ養殖漁業の再生を図る。



〈ホタテガイ養殖残渣の発生量削減のために導入されている洋上ホタテかご洗浄機〉

### 就学援助について

日本共産党 村川 みどり

**問** 中学校新入学用品費の3月支給を実施できないか。

**答** 本市の新入学用品費は、小・中学校ともに入学後の4月以降、就学援助の支給認定及び支給決定作業を行った上で支給している。教育委員会としては、中学校の新入学用品費であれば、小学校の認定手続を完了している児童の保護者への支給となることから、制度的にも可能なものと考えられており、入学準備に要する経費という目的も踏まえながら、平成27年度の支給方法を検討していく。

## 特別委員会 予算委員会

予算特別委員会では、平成26年度一般会計補正予算及び各特別会計補正予算が審査され、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定されました。以下は、同委員会での主な質疑応答をまとめたものです。

自民党新青会 中田 靖人

**問** 青森駅前再開発ビル株式会社  
の民事再生の必要性について市長  
の考えを示せ。

**答** 同社では(仮称)アウガ経営改善委員会の設置を予定している。市としてもアウガ活性化推進本部を立ち上げ、金融機関でも四半期ごとのチェックを実施することでアウガ再生に向けた努力を既に始めており、議会にはその状況を報告していく。また、これまでの経緯を踏まえ、仮に議会に特別委員会を設置することとなった場合には、市長として対応していきたいと考えており、民事再生という形ではなく、関係者一丸となった再生に向けた取り組みを進めていく。

市民クラブ 奈良 祥孝

**問** 平成21年第2回青森市議会臨時  
会において、市の青森駅前再開  
発ビル株式会社に対する2億円の  
融資については、平成27年1月に  
一括償還できるとする当時の再生

計画等の実現が可能と判断して議  
会に提案したものである。仮にそ  
の融資が焦げついた場合には、議  
会に提案した市長に責任があると

の答弁であったが、期限までに一  
括償還できない場合、市長は責任  
をとって辞職する考えはないか。

**答** 責任についてはアウガを再生  
させることで果たしていきたい。  
市長職を辞するという責任の果た  
し方は、現在考えていない。

市民クラブ 秋村 光男

**問** 議会が、青森駅前再開発ビル  
株式会社の第2次再生計画の進行  
管理として経営状態をモニタリン  
グするためには、同社の現金の流  
れ等を定期的に把握する必要があ  
るが、そのためには、これまで提  
出されていなかった、財務三表を  
定期的に議会へ提出すべきと考え  
るが、市の考えを示せ。

**答** 財務三表全てを見ることに  
よって会社の経営状態が把握でき  
ることから、今後、同社の現金、  
資産及び経営の流れについては、

財務三表も含めて、議会に対し  
報告していきたい。

※財務三表：企業が一定期間の  
経営成績等を明らかにするため  
に作成する左記の3種の書類。

○貸借対照表：資産、負債及び  
資本が記された書類。

○損益計算書：経営成績(収益  
と費用とその差額)が記された  
書類。

○キャッシュフロー計算書：  
現金の流れや増減が記された書  
類。

新政会 小倉 尚裕

**問** 第三セクターである青森駅前  
再開発ビル株式会社が利益を出す  
のは非常に難しいと思う。同社の  
再生は経営能力のある者に行っ  
てもらい、そのチェックを市及び  
議会が行うべきと思うがどうか。

**答** 同社の経営陣には、過去に商  
工会議所の幹部、民間の経験者等  
を迎えており、現在の経営陣に  
は、第2次再生計画を作成し前に  
進めるということで大きな期待を  
している。今すべきことは、今回  
の同計画を経営陣、地権者、テナ  
ントが一体となり、再生に向け  
着実に一步一步進めることであり、  
議会、市民には逐次報告してい  
く。

新政会 中村 節雄

**問** 競争入札参加資格の臨時資格審査申請受け付けを実施しようだが、県では随時の受け付けも実施している。市でも随時の受け付けを実施する考えはないか。

**答** 競争入札参加の登録者数は、隔年の定期審査申請のたびに減少しており、市では、入札調達における競争性の保持と品質確保のため、できるだけ多くの事業者登録を考え、緊急的に随時の申請受け付けを実施した。今後は、申請の受け付け時期等の周知方法を工夫するとともに、随時の受け付け実施についても検討していきたい。

日本共産党 山脇 智

**問** 市で行っている法律相談は、毎月第2・第4月曜日の午後1時から3時まで行われており、その予約方法は、相談日当日の朝8時半から窓口での直接予約のみとなっているが、電話予約も可能とするべきではないか。

**答** 法律相談の予約方法については、相談者が午前中に一度申し込みにした後、再度午後に来庁する負担も考慮し、今後、相談を依頼している県弁護士会とも協議しながら、相談者の利便性の観点から電話予約も検討していきたい。

日本共産党 館田 瑠美子

**問** 福島県南相馬市では、地域自治区としての独自の方針や判断によって一定の事業を行うための基金制度を設けており、本市でも検討すべきと思つたがその考えを示せ。

**答** 浪岡自治区地域協議会からの意見書には、基金の設立を希望する旨も含まれている。基金の設立は、市の一体性を保持しながらも特色あるまちづくりを目指した事業を進める上で有効であり、浪岡地区の地域振興に大いに役立つものと考えていることから、現在、他市の事例も含め、基金の設立目的、財源等を検討している。

社民党・市民の会 藤田 誠

**問** 新ごみ処理施設で安定した焼却処理を行うための対策を示せ。

**答** ごみの焼却処理においては、ごみの質や形状、燃えやすいものを多く含んでいるか否かによって燃えやすいところと燃えにくいところが発生する。新ごみ処理施設では、搬入された可燃ごみについては、クレーンによりごみピット内で攪拌したごみを破砕機で破砕し細分化することで形状の均一化を図り、再びクレーンによって攪拌するという工程によりごみを均質化し、安定した焼却処理を図ることとしている。

新政会 嶋田 肇

**問** 平成27年度以降に発生が見込まれている余剰可燃ごみについては、広域町村分も含めて算出しているようであるが、広域町村に対して、その焼却費用の一部負担を求める考えはないか。

**答** 広域町村では、本市同様、可燃ごみの減量化が進んでいないため、余剰可燃ごみの発生が見込まれている。この処理に当たっては、黒石地区清掃施設組合に処理を委託する予定であり、相応の費用を要するため、広域町村に対しても、応分の費用負担を求めることとしている。

新政会 奥谷 進

**問** 農地中間管理事業の概要と周知の取り組みを示せ。

**答** 同事業は、都道府県に1つ設置される農地中間管理機構が、規模縮小農家や離農希望者等から農地を借り受け、大規模化等の条件整備や担い手農家へ農地を貸し出すなど、農地利用の効率化や生産性の向上を図るものである。本市では、6月下旬から借り受け及び貸し付けの募集及び窓口受け付けを開始し、7月14日から市内10カ所で説明会を開催し、事業内容等の周知と対象者の掘り起こしを図り、担い手への農地集積・集約を進めることとしている。

市民クラブ 工藤 健

**問** 今秋開催予定の(仮称)あおもり秋まつりの概要を示せ。

**答** (仮称)あおもり秋まつりは、平成27年度予定の北海道新幹線開業に向け、本市の秋の魅力を強力に発信し、来訪動機の高揚及び滞在時間の拡大と満足度の向上を図るため、本市ならではの食、音楽、アートをテーマとして開催するものである。今後、関係者による実行委員会を設置し、ねぶた祭後も本市を訪れていただくよう当該事業の開催を通して本市の秋の魅力を広く周知していきたい。

無所属 奈良岡 隆

**問** 人の集まる場所であつた囃子を流し、町全体でねぶたのムードを盛り上げる考えはないか。

**答** 市では、これまででも中心市街地の商店街やアスパム、八甲田丸といった観光施設に加え、JR青森駅、アウガ、アップルヒル、一部市民センター、市役所本庁舎においても、ねぶた囃子のBGMを流すとともに、金魚ねぶたの飾りつけで祭りのムードを盛り上げているところである。今後も、関係機関の協力のもと、ねぶたBGMを含めた取り組みにより、青森ねぶた祭を盛り上げていきたい。

日本共産党 葛西 育弘

**問** 市が平成25年度から除排雪業者に提出を義務づけた除排雪の作業計画書に記載している重機や台数に基づいて作業指示を出した場合、一定の仕上がりが保て、苦情も少なくなると思うが、計画書に記載した重機等は全て出動することになっているのか。

**答** 基本的に作業計画書に掲載している重機等は出動することとなっている。ただし、国道等の作業と重なり、除雪機械やダンプトラックの手配がつかない場合や急な故障が生じた場合は、出動できないということも想定される。



〈地元町会から市道認定の要望が出されている国道7号青森高架橋下の側道〉

社民党・市民の会 斎藤 憲雄

**問** 国道7号青森高架橋下の側道は、何年にもわたり切島町会から市道認定の要望が出されているが、高架橋から側道に接続する計画道路が廃止となっていることを踏まえ、土地所有者である国とどのような協議をしているのか。

**答** 当該箇所については、地域住民が日常的に利用しており、市道としての移管も含めて土地及び施設の所有者である青森河川国道事務所と管理のあり方などについて協議していきたい。

自民党新青会 大矢 保

**問** 雇用促進住宅の野木宿舎が7千340万円の売却額で売り出されている。地方公共団体が公営住宅として購入する場合は半額となる制度があるが、当該宿舎を市営住宅として取得する考えはないか。

**答** 青森市営住宅ストック総合活用計画における人口減少の進展などの社会情勢を踏まえた場合、市営住宅の管理戸数をふやす環境にはなく、また、当該宿舎が、バリアフリー化などの市の整備基準を満たしていないことから、現時点で取得する意向はない。

日本共産党 村川 みどり

**問** 小学校同様、中学校の教科書も学校で配付すべきと思うが、教育委員会の考えをせよ。

**答** 公立中学校の教科用図書は、学校で生徒に配付する学校が10校、生徒もしくは保護者が当該学校長から引きかえ券の配付を受け、取次書店へ受け取りに行く学校が10校となっている。現在、店舗渡しの取次書店が1カ所になってしまい、生徒や保護者に受け取りの負担が生じているとの指摘を受け、教育委員会としては、平成27年度から、市内全ての公立小・中学校で学校配付とする予定である。

自民党新青会 木戸 喜美男

**問** 平成25年度に新城中央小学校の校庭東側の一部に整備した防球ネットの今後の整備に対する考えを示せ。

**答** 新城中央小学校では、グラウンド東側に隣接する住宅地が5メートルほど低い位置にあり、そのうち、特に住宅地への距離が短く、ボールの飛び込む事例が多かった南東側に、高さ5メートルの防球ネットを整備した。その後、ネットを飛び越える事例がほぼなくなったことから、防球ネット整備の延長は、引き続き状況を見ながら検討していきたい。

自民党新青会 舘山 善也

**問** 市民センター利用者の利便性向上のため、座敷用の椅子を用意すべきと思うが、市の考えをせよ。

**答** 市民センターなどの和室を利用する方の中に、畳に座ることが負担になる方がふえてきているという認識のもと、利用人数や座椅子の必要数について、それぞれ意見交換をした結果、7月中には各市民センター等に座椅子を5脚配置する予定である。今後、利用人数の多い施設から追加要望があった場合には、利用状況等を見ながら必要性について判断、検討していく。

公明党 赤木 長義

**問** 熱中症対策に有効なミストシャワーの設置についての取り組みを示せ。

**答** ミストシャワーは熱中症予防に効果が期待できることや、設置等も比較的容易であることから、市では、平成26年度において、屋外で活動する時間が長い中学校全に導入することとし、今後、配付する。各中学校には、教育活動の内容に応じてミストシャワーを適宜活用し、熱中症予防への意識を高めるとともに、効果的な熱中症予防対策に取り組むよう通知していく。

自民党新青会 神山 昌則

**問** 平成26年10月に市民美術展示館を一部改修することだが、トイレについては、例えば音楽が流れるなど、美術館にふさわしい改修をしてはどうか。

**答** 同展示館の改修は、施設の老朽化等に伴う空調設備や展示環境整備、受水槽の取りかえなどのほか、トイレを洋式便器へ取りかえるものである。館内のトイレは2階から4階に配置され、3階は多目的トイレとなっている。今回の改修では、2階と4階の男女トイレの1基ずつ、計4基を洋式便器に取りかえるものである。

自民党新青会 長谷川 章悦

**問** スポーツ施設のネーミングライツ料は、その施設の維持管理よりも、スポーツ振興に活用すべきと思うがどうか。

**答** 現在募集しているスポーツ施設のネーミングライツ料の用途はないが、本市のスポーツ振興に関する事業への活用として、例えば、新たな運動機器の導入などの利便性の向上を図るための施設整備、あるいは、スポーツ指導者の育成支援やジュニア層のレベルアップに資する活動支援なども検討していきたい。



〈熱中症予防に効果が期待され、全中学校に配付されたミストシャワーを体感する生徒たち(写真は甲田中学校)〉

自民党新青会 小豆畑 緑

**問** 平成25年9月の大雨により被災した新城川の災害復旧工事に係る鶴ヶ坂地区の早稲田橋付近2カ所の今後の対策を示せ。

**答** 当該2カ所については、国の災害復旧事業の認定を受けて平成26年2月に施工業者と契約を締結しており、同年3月末には市と業者が地元町会等に施工内容を説明し、先般も現在の状況を改めて地元町会に説明したところである。河川の災害復旧工事は、周辺住民及び耕作者の協力が不可欠であることから、今後、速やかに施工方法や時期等を確定させ、改めて地元に対して説明する。

社民党・市民の会 海老名 鉄芳

**問** 浪岡病院のあり方の検討状況を示せ。

**答** 平成25年度までに3回の検討会を実施してきている。同病院の平成25年度の収支決算をもとに、機能・規模を見直した精度の高い病院事業会計全体の収支シミュレーション作成に時間を要したため、第4回目の検討会は7月上旬を目途に開催したいと考えている。同病院は、浪岡地区の地域医療を支える基幹病院として、その機能を維持していく必要があることから、検討会での議論を深め、同地区住民の声も聞きながら検討を進めていきたい。

# 議員提出議案

## 賛成多数で可決された決議

### ごみの減量化推進に関する決議

平成27年度に稼働する新ごみ処理施設で処理し切れない可燃ごみの処理委託費用は約2億5千万円となり、ごみの減量化は喫緊の課題である。市民一人一人にごみ問題に理解・関心を持ってもらうた

当市議会は、議員提出議案11件のうち、決議2件、附帯決議1件及び意見書5件を可決しました。以下は、可決された決議、附帯決議及び意見書の要旨をまとめたものです。なお、各意見書はそれぞれ関係機関に提出されます。

めの「ごみに関するハンドブック」を作成し、ごみの減量化・資源化が促進されるよう取り組むことなど、市に強く求めることを決議するもの。



## 青森駅周辺整備推進事業を計画どおり実行するよう求める決議

今後の設計業務やデザイン会議での検討に一定の期間が必要なことから、時間的に間に合わなくなるといふ最悪の状況を避けるため、第2期青森市中心市街地活性化基本計画の中核事業に位置づけられている同事業については、国の都市再生整備計画の交付事業として、遅滞なく速やかに実行するよう市に求めることを決議するもの。

## 賛成多数で可決された附帯決議

**議案第119号「平成26年度青森市一般会計補正予算(第2号)」に対する附帯決議**

青森駅前再開発ビル株式会社への貸付金に係る計画期間中の元金償還の繰り延べの実施に当たっては、同社の経営状況について、議会に対しこれまで以上に定期的かつ詳細に計画の検証を含め、必要に応じて市長または副市長が直接報告・説明するとともに、必要な資料を提示すること、市長は、第2次再生計画の進捗状況を見きわめながら、アウガの経営について、適時・適切に判断することなどの適切な措置を講ずるよう強く求めることを決議するもの。

## 全会一致で可決された意見書

**少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を図るための、2015年度政府予算措置に係る意見書**

きめ細かな指導のためには少人数学級推進などの計画的定数改善が必要であり、学ぶ意欲などを引き出すための条件整備が不可欠である。よって、国に対し、①きめ細かな指導を行い、豊かな教育環境を整備するため、②教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担割合を2分の1に復元することを強く要望するもの。

## 中小企業の事業環境の改善を求める意見書

中小企業が消費税増税、原材料及び燃料の高騰などの厳しい環境を乗り越えられるよう、切れ目のない経済対策が必要である。よって、国に対し、地方の中小企業が好景気を実感するため、健全な賃上げ、収益性、生産性の向上に結びつくよう、経営基盤の強化策及び資金繰り安定化などの対策を講じるよう強く求めるもの。

## 総合的、体系的若者雇用対策を求める意見書

国では、わかものハローワークや新卒応援ハローワークなどにおける支援や「若者応援企業宣言」事業などに取り組んでいるが、関係機関との有機的な連携がとられていない。よって、国に対し、若者雇用対策を総合的かつ体系的に推進するための仕組みを構築するため、若者雇用対策新法を制定し、若者を支える家庭、学校、地域、国・地方の行政の責務を明確にし、緊密に連携して支援を行える仕組みを整備することなどの対策を講ずるよう要望するもの。

## 賛成多数で可決された意見書

**集団的自衛権行使を容認する解釈変更を行わないことを求める意見書**

憲法解釈については、政府与党内部においても不一致である中、一内閣の考えだけで変更することは、近代立憲主義に対する暴挙であり、認めることはできない。よって、国に対し、集団的自衛権の行使を容認する憲法解釈の変更を行わないことを強く要望するもの。

地域包括ケアシステム構築のため  
地域の実情に応じた支援を求める  
意見書

全国の自治体では、平成27年度  
からの第6期介護保険事業計画の  
策定に向けて、増高する保険料な  
どに苦慮しながら取り組んでい  
る。よって、国に対し、医療、介  
護、福祉の良質な人材を確保する  
ため、国家戦略として抜本的な対  
策を講じること、社会保障・税一  
体改革の趣旨に沿い、消費税を財  
源とする財政支援制度を拡充する  
ことなどの積極的な支援を求める  
もの。

# 表彰

今定例会で長年市政の発展  
振興に尽力された次の方々には表彰状  
の伝達が行われました。

## ■全国市議会議長会表彰

- 【議員在職20年以上】  
大矢 保
- 【議員在職15年以上】  
仲谷 良子
- 【議員在職10年以上】  
長谷川 章悦

# 議員の辞職

渋谷勲議員が7月1日付で辞職  
されました。

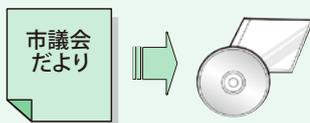
# 会派の異動

渋谷勲議員の辞職により、会派  
の現況は、自民党新青会10人、新  
政会7人、社民党・市民の会6  
人、日本共産党6人、市民クラブ  
6人、公明党4人、無所属1人と  
なりました。

## 点字版・テープ版・CD版の発行

市議会では、視覚障害のある  
方のための市議会だよりとして、  
点字版を発行しております。  
また、音声による市議会だより  
としてテープ版・CD版（デイ  
ジー形式）も発行しております。  
市内にお住まいで、視覚障害  
の1級または2級の方に送付い  
たしますので、ぜひ御利用くだ  
さい。

御利用を御希望の方は、  
議会事務局までお問い合わせ  
ください。  
電話 017-734-5743



## トピックス 平成26年第1回青森市議会議会報告会を開催しました

日 時：平成26年5月18日（日）13：30～各会場おおむね15：00  
場 所：市柳川庁舎、アピオあおもり、ゆーさ浅虫、はまなす会館  
テーマ：平成26年第1回青森市議会定例会報告  
・平成26年度当初予算概要について  
・市庁舎整備について  
参加者数：柳川8人、アピオ6人、浅虫2人、はまなす2人 合計18人



〈平成26年5月18日に開催した議会議会報告会の様子(写真はアピオあおもり)〉

上記のとおり議会報告会を開催しました。当日、会場でお答えできなかった御質問にお答えします。

1	問 柳川庁舎の敷地（玄関）のところにある樹木に名札をつけてほしい。名札がとれているところもあるのですが、ぜひ、こういう樹木があるということを知らせてほしい。	答 柳川庁舎玄関前の敷地の樹木には、それぞれ名札をつけておりましたが、風雪等により名札がとれたものなどもありましたので、樹木の種類を調べた上で、名札をつけるよう対応いたします。 担当課：管財課
2	問 「アウガ」のホームページについて、計画も何もないのでわかりにくい。営業報告書、貸借対照表、損益計算書を掲載するように要望する。市から働きかけてほしい。	答 青森駅前再開発ビル株式会社については、地方自治法に基づき、法人の経営状況を説明する書類（予算・決算）を毎年度、市議会へ報告しています。 このことを踏まえ、これまでも、同社の経営状況として、毎年度、市ホームページを通じて、損益計算書を公表していますが、今後は、貸借対照表、損益計算書を含む、市議会へ報告している法人の経営状況を説明する書類（予算・決算）についても、市ホームページで公表するとともに、アウガホームページにおいても、市ホームページへのリンクを張りつけることとします。 担当課：商店街振興課

## ～～ 議会の様子を見てみませんか ～～



議事堂で  
傍聴する

議会はどこからでも傍聴できます。  
本会議当日、市議会棟1階東側「傍聴者入口」の受付で、傍聴券に住所・氏名・年齢を記入し入  
場してください。事前の申し込みは必要ありませんが、お席に限りがございます（87席）ので、  
あらかじめ御了承ください。



インター  
ネット  
中継を見る

インターネットで議会（本会議）の生中継と録画映像の配信をしています。次の手順によりご覧ください。  
青森市議会のホームページへアクセス [青森市議会](http://www.city.aomori.aomori.jp)  URL <http://www.city.aomori.aomori.jp/contents/gikaijimukyoku/gikai-giji/>  
⇒画面最上部の「開催状況と結果」をクリック  
⇒「議会中継トップページはこちら」をクリック

※本会議中は生中継をごらんいただけます。  
※録画映像は生中継終了後3日程度（土日、祝日等を除く。）でごらんいただけます。

平成26年第2回定例会 議案・請願・陳情 審議結果一覧

賛否が分かれた案件	自民党 新青会		新政会		社民党・ 市民の会		日本共産党		市民クラブ		公明党		無所属		採決結果
	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	
■青森市市税条例等の一部を改正する条例の制定について	10	1	6		6			6	6		4		1		原案可決
■青森市道路附属物自動車駐車場条例の一部を改正する条例の制定について	11		6		6			6	6		4		1		原案可決
■平成26年度青森市一般会計補正予算（第2号）	8	3	6		6		6		2	4		4	1		原案可決
■光ブロードバンド整備に関する請願	11		1	5	6			6	6		4		1		採択
■水道部における労使紛争の実情等の公表を求める陳情	11		6		6		6		6		4		1		不採択
※不採択と決することに対する賛成・反対の意思表示															
■公正適切な行政文書の開示を求める陳情	9	2	6		6		6		6		1	3	1		不採択
※不採択と決することに対する賛成・反対の意思表示															
■市民意見に真摯に耳を傾けることを求める陳情	11		6		6		6		6		4		1		不採択
※不採択と決することに対する賛成・反対の意思表示															
■油川市民センターの現状の公表を求める陳情	11		6		6		6		6		4		1		不採択
※不採択と決することに対する賛成・反対の意思表示															
■ごみの減量化推進に関する決議	11		6		6		6	6		4		1			原案可決
■青森駅周辺整備推進事業を計画どおり実行するよう求める決議	11		6		6		6	6		4		1			原案可決
■集団的自衛権行使を容認する解釈変更を行わないことを求める意見書	3	8		6	6		6		6		4		1		原案可決
■労働者保護ルールの改悪に反対する意見書		11		6	6		6		6		4		1		否決
■生活保護基準の引き下げ中止を国に求める意見書		11		6	6		6		6		4		1		否決
■生活保護の老齢加算復活を求める意見書		11		6	5	1	6		6		4		1		否決
■地域包括ケアシステム構築のため地域の実情に応じた支援を求める意見書	11		5	1		6		6	6		4		1		原案可決
■議案第119号「平成26年度青森市一般会計補正予算（第2号）」に対する附帯決議	11		6		6		6		6		4		1		原案可決

全会一致で原案可決となった案件（賛成：40 反対：0）

- 平成26年度青森市一般会計補正予算（第1号）・各特別会計補正予算（第1号）（2件）
- 青森市及び南津軽郡浪岡町の廃置分合に伴う地域自治区の設置等に関する協議により定めた事項を変更する条例の制定について
- 青森市地域生活支援事業の実施に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 青森市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- 青森市民館条例の一部を改正する条例の制定について
- 青森市自動車運送事業運営審議会条例の一部を改正する条例の制定について
- 青森市競輪実施条例の一部を改正する条例の制定について
- 青森市消防団員退職報償金条例の一部を改正する条例の制定について
- 契約の締結について（青森市立東中学校屋外教育環境整備工事）
- 契約の締結について（青森市立金沢小学校旧校舎解体工事）
- 契約の締結について（青森市立西田沢小学校校舎耐震補強工事）
- 契約の締結について（浪岡庁舎車庫倉庫A棟・B棟改築工事）
- 財産の取得について（マイクロソフトオフィスライセンス等の購入）
- 財産の取得について（除雪機の購入）
- 字の区域の変更について
- 公立大学法人青森公立大学第二期中期目標について
- 少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を図るための、2015年度政府予算措置に係る意見書
- 中小企業の事業環境の改善を求める意見書
- 総合的、体系的若者雇用対策を求める意見書

全会一致で同意された案件（賛成：39 反対：0 退席：1）

- 固定資産評価員の選任について  
三上 正俊氏
- 財産区管理委員の選任について  
（清水財産区）赤田 雄樹氏、羽賀 孝明氏（桐沢財産区）玉熊 修二氏（深沢第二（川目平）財産区）白取 富雄氏、小泉 洋一郎氏  
（八重菊第二（萱の茶屋）財産区）千葉 賢氏、三浦 善治氏（新城財産区）山口 一男氏、浅利 義雄氏  
（野内財産区）小笠原 稔氏、山谷 久三郎氏、貝森 秀雄氏

全会一致で不採択となった案件（不採択とすることに賛成：40 反対：0）

- 理事昇任は適正な能力実証に基づき行うことを求める陳情
- 青森市における天下り人事の廃止を求める陳情
- 組合事務室の無償使用許可の取り消しを求める陳情

○賛否が分かれた案件の賛否状況（議員氏名）については、青森市議会ホームページに掲載しています。  
○個別議員の賛否については、お電話でのお問い合わせにも回答させていただきます。

# 委員会の活動

平成26年第1回定例会の閉会後から同年第2回定例会の閉会までの間の常任・特別委員会の活動状況をお知らせします。

## 総務企画常任委員会

6月11日に開催され、付託された条例案4件、契約の締結4件、財産の取得2件、公立大学法人青森公立大学第二期中期目標を定めるもの1件、請願1件、陳情4件が審査された。青森市市税条例の一部を改正する条例案については、起立採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決定され、光ブロードバンド整備に関する請願については、起立採決の結果、採択すべきものと決定され、組合事務室の無償使用許可の取り消しを求める陳情及び公正適切な行政文書の開示を求める陳情については、いずれも起立採決の結果、不採択とすべきものと決定され、また、理事昇任は適正な能力実証に基づき行うことを求める陳情及び青森市における天下一人事の廃止を求める陳情については、いずれも全会一致で不採択とすべきものと決定され、そのほかの案件については、いずれも全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定された。

## 文教経済常任委員会

6月11日に開催され、付託された青森市公民館条例の一部を改正する条例案1件、字の区域の変更1件、油川市民センターの現状の公表を求める陳情1件が審査された。同陳情については、起立採決の結果、不採択とすべきものと決定され、そのほかの案件は、いずれも全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定された。

## 都市建設常任委員会

6月11日に開催され、付託された条例案2件、水道部における労働紛争の実情等の公表を求める陳情1件が審査された。青森市自動車運送事業運営審議会条例の一部を改正する条例については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定され、青森市道路附属物自動車駐車場条例の一部を改正する条例については、起立採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決定され、同陳情については、起立採決の結果、不採択とすべきものと決定された。

## 民生環境常任委員会

6月11日に開催され、付託された青森市地域生活支援事業の実施に関する条例の一部を改正する条例案、青森市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案の計2件、市民の意見に真摯に耳を傾けることを求める陳情1件が審査された。同陳情については、起立採決の結果、不採択とすべきものと決定され、そのほかの案件は、いずれも全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定された。

## 各特別委員会

○雪対策特別委員会：4月17日に開催された委員会では、理事者から平成25年度の除排雪状況及び屋根の雪おろし費用の一部助成事業の実施結果に関する説明があり、質疑応答が行われた。

○交通対策特別委員会：5月21日に開催された委員会では、理事者から青森市シャトル・ルートバス及び浪岡地区コミュニティバス運行実績に関する説明があり、質疑応答が行われた。

○まちづくり対策特別委員会：4月21日に開催された委員会では、理事者から第2期青森市中心市街地活性化基本計画の第2回変更認定に関する説明があり、質疑応答が行われた。

○雇用観光対策特別委員会：5月19日に開催された委員会では、理事者から若年求職者等への就職支援、事業所開設に係る基本協定の締結、青森春まつり及びAOMORI春フェスティバル、東北六魂祭2014山形、モヤヒルズの温泉施設休業、平成26年度青森港クルーズ船寄港予定の計6件の案件に関する説明があり、質疑応答が行われた。

次の定例会はおおむね9月の予定です

## 編集後記

限られたページ数でできるだけ多くの情報を伝えたいという感じがする現在の市議会だよりですが、「思わず手にとって読んでみたくなる」ような紙面づくりが今後の課題です。どんな情報をどれくらい載せ、どのように見せたらよいか、これからは研究してまいります。(木下靖)

### 議会広報広聴委員会

- 委員長 赤木 長義
- 副委員長 工藤 健
- 委員 天内 慎也 中田 靖人
- 中村 節雄 葛西 育弘
- 山本 治男 木戸 喜美男
- 嶋田 肇 斎藤 憲雄
- 藤田 誠 木下 靖



〈民生環境常任委員会では平成26年5月7日から供用開始された母子生活支援施設「青森市立すみれ寮」の視察を4月18日に行いました(写真は建物外観(左)と施設概要説明の様子(右))〉

あおもり市議会だよりには古紙が含まれています

発行：青森市議会  
編集：議会広報広聴委員会

〒030-8555 青森市中央一丁目22-5  
TEL：017-734-5743 FAX：017-734-5824  
ホームページ  
<http://www.city.aomori.aomori.jp/contents/gikaijimukyoku/gikai-giji/>